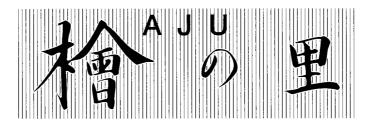
私たちは、自閉症という障 害をもつ人たちが、彼らなり に社会の一員として自主自立 をめざし、豊かな人生を生き 抜くよう共に道を拓いていく ことを目的としています。



令和5年2月28日発行/ 第109号

発行人 AJU

東海身体障害者団体定期刊行物協会 名古屋市中区丸之内3-6-43みこころセンター4F

集 社会福祉法人 檜の里

〒510-1326 三重県三重郡菰野町杉谷 1573 電話 (059) 394 - 1595 編集責任者 山田 勉 購読料 1部100円

部落

(会員の購読料は会費に含まれています) URL http://asakegakuen.com

with 20% Epitie BEHORNUES &



尾高観音へウォーキング



マスクを外して記念撮影



休けい中も距離を取って

減少せず、増減を繰口ナ感染者の発生は

したがって全国のコ 日に至っております。 生に方針を変更し今 ぼすため、コロナとの 政策は経済に悪影響を及 配はなく、徹底した隔離 過した今日でも収まる気 まったコロナ禍は四年

り返しております。

では入所者が保護者

私どもあさけ学園

や政治の問題にとどまら 期化しており、 見込みは全くたたず、長 ウクライナ侵攻は収束の に始まったロシアによる おります。 ながら感染者が発生して てまいりましたが、残念 に接触しないよう努力し 切禁止しコロナウイル また、二〇二二年二月 ロシアへの経済制 単に軍事

などのため、

上げます。

最近の大幅 当時の先人達に敬意を表園の姿となっております。能も拡大されて今日の学 の老齢化です。ひとつは 題点も明らかになってま 年以上経過してまいりま ました。その後規模も機 したので、いろいろな問 たいと思います。 いりました。 し、そのご苦労に感謝し 特に大きな問題は二つ しかし、開設以来四十

また、

用したりして、リモー トで面談しておりま 禁止し、ズームを利 接の面談を全面 と接触しないよう直 的に

2023年を迎えて

山田 勉 社会福祉法人 檜の里 理事長

設運営方式を確立いたし かかわらず、見事に「あ 者を集めてうまくいくは は本年六月で四十二周年 法人檜の里「あさけ学園 が出てきております。 さて、私ども社会福祉

と存じます。

二〇一九年末から

お正月を過ごされたこと いおかれましては静かな

一〇二三年を迎え皆様

さけ方式」と言われる施 を迎えます。あさけ学園 ずはないと言われたにも た。当時は重度の自閉症 施設として開設されまし は日本最初の自閉症成人

な物価上昇や急激な円安 など世界的に大きな影響 つは物の老齢化です。 高齢化と利用者の老齢化 人の老齢化で、もうひと

す問題化してきておりま十年経ってみるとますま や更新の必要性が高まっ初期の建物や施設の修繕 この欄に書きましたが、 理事長に就任したときに のことは二〇一三年私が てきていることです。こ です。物の老齢化は開設

人の老齢化は保護者の

保護者は七十五歳以上

事態において事業継続で りの費用が必要だと予想 せていますが、まだ作成作成は毎年事業計画に載 環境のバリアフリー されます。 の排水設備工事等には多 など各種施策も必 り、その対応のため居住 や行動能力の低下が起こ なっており、亡くなられ の後期高齢者の方が多く 今後の施設整備にはかな くの費用が発生しており、 することができておりま なっております。 た方もかなりあります。 また、近年になり緊急 利用者も成人病の発症 昨年の公共汚水枡接続 建物・施設の整備計画 要に 化

考え、ともに努力しなが 私共役職員一同はともに 支援ご協力をお願い申し をかかえております らこの一年を乗り切って いきたいと思っておりま このように多くの問 本年も皆様の一層のご が、

ております。

CP)の策定も求められ きるよう事業継続計画(B 全部で十六団体より

一団体、未記入が一団体地のみが五団体、借地は

償借地、もしくは無償借

自己所有地と無

九八七年のことです。

ですが、親の会有志によ

る設立が多いこともあ

名称を変更し、現在に至るのはご存じのとおりです。 ら整理してみることにしました。 して発足し、その後、全国自閉症者施設協議会から全日本自閉症支援者協会へと 今回、この歴史を振り返る機会があったので、まずは「全自者協」の黎明期か 題目にある「全自者協」は、一九八七年七月、 全国自閉症者施設連絡協議会と

○はじめに

初のようです。 の中に加えられたのが最 成立に際して、付帯決議 童福祉法の一部改正案の 年、重症心身障害児施設 登場したのは、一九六七 を児童福祉施設とする児 「自閉症」という用語が 日本の福祉行政の場に

ことからすると、この ギャップは不思議でし を巻き起こす発見だった 生以前では、他に「自閉 神科領域における大論争 の症例報告以来、児童精 ます。鷲見(一九五二) みに限られていると思い 症児施設」関連の省令の おそらく全自者協の誕

○全国の施設・団体等へ 交流の呼びかけ

発達医療センター)の初 重県立子ども心療セン 志「自閉症児の問題は、 の翌日の事、先生のご遺 営する十三の社会福祉法 閉症者のための施設を運 の里から、全国各地で自 設が十を超えた時には 市で開催されました。こ 回十亀記念会が三重県津 の業績を記念して、第一 代園長 故十亀史郎先生 する施設が手を結ばなけ えるものだ。志を同じく 在、三重県立子ども心身 施設の努力の範囲を超 ーあすなろ学園(現 を受けて、私たち檜 九八六年十月、旧三 設立準備中の十団 「同じような施 既存の法人が三団体、個 名、 備中の五団体より十三 人が一団体でした。な 有志が最も多く七団体、 人となったのは、親の会 概要を紹介します。発起 あったと思います。 くれた団体もいくつか せて二十五名、設立準 営している一団体を合わ 症児親の会をさしていま いは政令指定都市の自閉 会」とは、都道府県ある お、ここで言う「親の を運営している九団体の したが、資料を送付して 三十八名。さらに、欠席 このうち、実際に施設

す。 かけたのが発端となりま 会 て、体、 (仮) への参集を呼び 自閉症成人施設連絡 その他二施設に宛

○自閉症成人施設連絡会 (仮) の開催

ないが実際に作業所を運団体、及び法人格は有し 会福祉法人格を有する十 当日出席したのは、

ほとんどを占め、一団体 施設(収容)が十団体と 称)は、精神薄弱者更生 更生施設の定員はすべて は通所の小規模作業所。 施設種別(当時の呼

設用地は、自己所有地が 北海道から九州まで各地 定員は十名。所在地は、 にわたっていました。建 くて五十名、通所施設の 小規模で、三十名から多

当時のまま)。 たいと思います 合った想いを整理してみ 明期に携わった人たち同 対象とした施設建設の黎 の資料を読み取り、青 は、先の八六年の連絡会 士が初めて集まり、語り 年・成人期の自閉症者を (用語は

の建設 した自閉症成人施設

神薄弱者が一般就労のし、法律上、正式に精 対象に含められたの 障害者雇用促進法へ移行 体障害者雇用促進法から 当時を振り返ると、身 次の機会に譲り、今号で て十八歳に達した後、行

○精神薄弱者施設に準拠

と書かれています。 能な専門施設を発起した 遇困難な精神薄弱者、 難しい、一般施設では処 く、問題行動への対処が 願いのもと、自閉性が強 てやりたいとの強い親の 施設も稀少な中、彼らの 拓で、受け入れてくれる 症成人の指導方法は未開 き場もなく在宅生活を余 なわち自閉症者に対応可 人生を意義あるものにし

の精神薄弱者更生施設 はほぼ無に等しく、既存 めの施設としての選択肢 しかしながら、そのた (入所) 、通所

の人数は、看護 更生施設(入 施設や小規模作 婦を含めて入所 所)の処遇職員 せんでした。当 業所しかありま の場合には授産 時、精神薄弱者

者四・三人に一 員一名、重度棟 名、プラス介助

自閉症総合援助センター

あさけ学園 藤

施設長

近

裕

彦

数値となっていました。 多くの「設立の趣旨」に は三%前後の非常に低い 頃、精神薄弱者更生施設 害者福祉協会)の全国実 護協会(現、日本知的障 また、日本精神薄弱者愛 小児自閉症の占める割合 態調査によると、その (入所) の在籍者のうち から、 されていました。 が始まったら親は月々 いるのか?」「施設運営 で、設立準備中の発起人 度三〇%、 算対象者一人当たり初年 二五%の加算のみと記憶 か?」という質疑も交わ いくら寄付したらいいの わらず職員の確保は深刻 しています。今も昔も変 「年金はどうして にすると重度加 次年度から

翌日に第一回総会の開月、設立準備会、即その

催、八八年から加盟八施

人期を迎えた自閉症者に もあるとおり、青年・成 りとして、翌八七年七

連絡会の資料のうち、

そして、これを足掛か

きなかったと聞きます。

り、土地の選定や資金の

調達に関する苦労話は尽

が行なわれ、次第に会員

けている者はごく僅か おいて、適切な処遇を受

で、義務教育後、あるい

自閉症児施設や他の児

設の持ち回りで年次総会

施設が増えていきまし

た。全国自閉症者連絡協

議会ができた後の経過は

童福祉施設で療育を受け

営や指導上の悩みや困り だけで抱え込んでいた運 れまで各施設が自分たち け文にもあるように、そ 連絡会(仮)の呼びかの機器

事について、情報交換を

となっています。 方で、各施設が置か

事項として浮き上がって についても、重要な検討 り組めるような組織作り まらず、共通の課題に取 研修会の開催だけにとど 事柄も多かったのではな 立の経緯などの違いにつ れていた立場や事情、設 となりました。 くための有意義な連絡会 いでしょうか。併せて、 いて、改めて見えてきた

提案されてきた意見であ 連携についても当時から 議会(現、日本自閉症協 きた自閉症親の会全国協 した。併せて、それまで 年度で三十五回を迎えま 述したとおり、八八年の 目的とした研修会の定期 り、現在も進行中の活動 会)や他の関係団体との ご自分が活動に加わって 回りで開催され、令和四 第二回年次総会から持ち となりました。これは前 的な開催が、喫緊の課題

○社会福祉施設功労者として菰野町社会福祉協議 永

年

勤

続

表

彰

会から表彰されました。 【令和四年度】 北山 俊介 (敬称略

○社会福祉法人檜の里に永年にわたり勤続したと 【令和四年度】 して表彰されました。

《四十年勤続》

廣田昌俊 河合 薫 近 裕 彦

《二十五年勤続

《二十年勤続 米川宗秀

飯田隆史

(十五年勤続) 伊藤明美 中村典子

(十年勤続) 池田健一郎 加納弘

鈴木千恵

山 下

茂

称えるとともに、感謝申し上げます。 永きにわたりあさけ学園に尽力された功績を

編集部

87

今回はあさけ学園居住棟(B棟)で日常支援や地 域支援を行っている職員を紹介します。【編集部】



▼左下 支援員 支援員 支援員 支援員 後列左より 支援員 井戸久美 支援員 支援員 前列左より 山下奈央 松井ひとみ 吉原 バーバラ 真由美 飯田真好 廣井慧里 藤田理奈

にがんばりましょう。 今年は「うさぎ年」みんな元気 昨年は大変お世話になりました。 禍の報告から始めなければ

この号でも学園のコロナ

(3) 第109号

針のもと診療所の助言も受

け、また職員体制をやりく

の苦労は大変で、園長の方

この様な毎日なので職員

態勢は解けません。 りましたが、未だまだ警戒 用者全員はコロナ陰性とな た。利用者の数にはあさけ 儀なくされてしまいまし

ナ陽性となり隔離療養を余 上、職員も二十数人がコロ

ホームと通所者も含まれて

年の明けた一月現在、

中心に利用者の二十人以

に去年の十一月と十二月を なりません。この半年、特

りしながらの戦いとなって

います。本当にこのコロナ

四年十二月十三日にオンラ 東海ブロック研修会が令和 インにより開催され参加さ 日本福祉大学社会福祉学

定、人手不足で事業所の運 支援A型の所長である設 か否か、、自分が就労継続 賃に差をつけてもいいもの グループワークとなってお 閉症、重度知的障害のある めの反「優生学講座」~自 生による『福祉従事者のた 作業量にも違いがある。工 用者それぞれで違いがあり 型の所長である設定で、利 いうテーマの研修でした。 人たちを中心として~』と 部社会福祉学科の藤井渉先 はじめに講義ではなく、 ″自分が就労継続支援B

ほのめかすような状態の方 軽犯罪を繰り返し、精神面 の方の利用希望があった。 ないとも付け加えられまし の不安定さがみられ自殺を した。ただ、正しい答えは いう問いを投げかけられま だが受け入れるか否か〟と

ことができるのではない ない、事業所が傾きかけて はないか、もしこの事業所 いか、受け入れたとしても はリスクが大きいのではな いる状態で受け入れること 望があれば断ることができ のモチベーションを高める 応をしてもらえれば作業へ ではない、能力に応じた対 のであれば差をつけるべき 十分な支援ができないので か、また、基本的に利用希 同じ事業所に通っている 民優生法の図解がドイツで ました。日本で示された国 害者などに対して行われた それは誰にでも起こりうる 強制的な安楽死政策)も関 作戦(ナチス・ドイツで障 論理、日本で国民優生法が ことであり、二〇一六年に ころに根付いてしまってい 生思想が個人の無意識なと なる優生思想』として、優 ているものであるというこ 示されていた図解によく似 連しているとの説明があり 成立した時ドイツではT4 件、戦争により人の選別の ろんなところに表出され 起きた相模原障害者殺傷事

の様々な意見がありまし の行き場がなくなる、など がなくなったら今の利用者 を日本も行っていたことや とも知りました。 内なる優生思想を誰でも起 ナチスのような酷いこと

全日本自閉症支援者協会

この後の講義では、 りましたが、心して行動し れ去られると、いつの間に か入り込んでくるのが優生 観点が大切でありそれが忘 じました。 ていきたいと思いました。 マで押しつぶされそうにな ただき、とても重たいテー 思想であることを教えてい こりうることに戸惑いを感 『本人にとって』という (相談支援専門員

中村典子)



支援と連帯の輪※和米

97

との戦い)は何時まで続く のでしょうか。 禍(眼に見えないウイルス さて話題は変わります

の方をふり向きますがすぐ 言葉をかけると僅かに母親 語が止まりません。母親が にまた自分の世界です。 り、手を常同的に振り、独 舞は部屋を行ったり来た その時お母さんは「心の 診察室でのAさんのふる り、

こんな風に私たちの日常

の行動障害に対して経験豊時々により変わります。こ のからとても重いのまであ れの程度は人により、軽 と大きく食い違うのでそこ に行動障害が生じます。こ また同じ人でもその

の健康問 題 46

あさけ診療所所長

西

性を欠くという点です。 皆さんに共通するのは社会 大変なのですが、ひとり一 う。自閉症は理解するのも をどの様に親御さんに説明 が、 十人十色、私達と同じです。 人は個性を勿論持っていて しているかを見てみましょ 私が外来診察で自閉症

二がこちらに開いた社会性 の気持ちやその場の雰囲気 イペースが強いのは、相手 の部分です。」この様にマ 自閉の世界です。」「たった に一向無頓着なためなので 全体を十とすると八までは (すなわち社会性の欠

導を可能にします。 富な担任や指導員は「二 の部分に照準を合わせた指

発達障害でも多動性障害 効な場合が多いのです。 薬物療法 てだけでなく、自閉症には ADHD) には抗多動薬 又、この行動障害に対し (向精神薬) が有

が有効なのはご承知のとお

の中でどのように働くのか ます。情緒面も安定して他 りやすく、反応が良くなり ます。学習面では指示が入 深い担任にはすぐにわかり ですが、投薬の効果は注意 はまだ解明されていないの か。自閉症の場合、薬が脳 目的で向精神病薬等を工夫 脳での過剰な興奮を鎮める 児とのトラブルも軽減しま して使います。 す。行動障害が酷い場合も、 それでは自閉症ではどう

が、根気よく分かりやすく 切れない場合もあります ます。このため処方にふみ 必要性を説明していくこと 子に脳に働く薬を使うこと 、の漠然とした不安があり 親御さんによってはわが

重 県障が ひとりひとりが主人公 い者 芸 術 文化 想いを届ける芸術祭~ 祭 に 出 展

四日市市文化会館で行われました。 三重県障がい者芸術文化祭が、十二月二十三日金、二十四日出の二日間にわたって、

発表】から成り立っています。 CG、俳句の【作品展】と、歌唱、 実施されており、絵画、写真、書道、陶芸、手芸、工芸(版画、彫刻含む)、貼り絵、 この文化祭は障がい者による芸術文化祭で、三重県内の地域ブロックを転々と毎年 楽器演奏、演劇、踊り・ダンスなどの【ステージ

少人数グループで作品展やステージ発表を見に行ったりしていました。 手織りを、創作文化活動から日中活動内で製作したものを合同作品として出展したり、 これまでにも、あさけ学園や青葉台ホームの利用者が個人作品として写真や絵画や

を和やかに迎える〝和紙で作った十二支〞の二点を出展する準備をし、さらに創作文 ど創作文化活動メンバーが一生懸命作った作品が色々あるものの、作品発表する場が とても楽しみにしていました。 化活動のベテラン利用者二人と一緒に、他の方の素敵な作品を見に行く予定も立てて、 少ないため、この芸術祭でたくさんの方に見てもらえるいい機会ということで、製作 した作品の出展を決めました。開催日程にぴったりな ^クリスマスの壁飾り^ と新年 今回の開催地が近隣の四日市市ということや、日頃、四季折々の壁画や置き飾りな

残念なことに‼ちょうど時期を同じくして、棟内で感染症が拡大し、 回の出展と見学は中止になってしまいまし 者も支援員も大変なことに…。 泣く泣く今

見事に採用となった藤田理奈さん(支援 員)!立派な額付き表彰状と記念品を頂き う~!』と誓い合いました。乞うご期待!! う、創作文化活動メンバー全員で『頑張ろ ました。ご紹介まで。(支援員 活動の担当支援員三名で応募したところ、 募集と共に、サブタイトルの募集もあり、 『折角なので笑える思い出に』と創作文化 最後ではありますが、この芸術祭の作品 次回開催には新たな作品を出展できるよ 松井ひとみ)



ų

令和四年九月一日から 十二月三十一日まで (敬称略)

▽市川 (Koharu terrace Clinic)

`寄付ありがとう ざいました

紙上を借りて厚くお御礼を申 し上げます。 敬称略)

▽侑フジジャパン ▽あさけ学園保護者会 物品 みかん

▽株トーヨー物流 どらやき

コーヒー

な思い出を伺うことができま

がまったく分からず、とまど

いながらも最後まで全うでき

ともよろしくお願い致しま き、とても嬉しいです。今後

(施設長 近藤裕彦)

てもらっていたので、今回「こ

いつも仕事をきちんとやっ

んにちは」に登場していただ

てホッとしているとのことで

て、いろいろ

たこともあっ 員を務められ 援会などの役 保護者会や後 評議員の前に ます。併せて、 が当法人のあさけホーム(グ

仕事をしていたので経理の事

のは、毎年、菰野町文化祭の

また、楽しく語ってくれた

バザーを無事やり終えたこと

だそうです。後藤さんは「や

後藤さん自身、メカニックの

後藤博利さんは、息子さん

ている父親の ム) を利用し ループホー

人でもあり

社会福祉法人檜の里

評議員

ご とうひろとし **後藤博利さん**

出入に携わっていたのを覚え 手の必要なバザーの物品の搬

ています。

いましたが、前日そして当日

りたがりだから」と謙遜して

は朝早くから、トラックで男

や現在の評議員については、

この中で、後援会の副会長

の予防対策が、新しい生活 式として、定着しつつある 様式から当たり前の生活様 動の自粛、三密を避ける等 した。マスク着用、手指消 症の流行から三年が経ちま 新型コロナウイルス感染 換気の徹底、外出・移

増進の運動、レクリエー や身体を刺激する機会を積 行、地域のイベント、健康 庭帰省や外出、買い物や旅 極的に作ることができませ た。人とのつながりや、心 ション等が中止になりまし この三年間、利用者は家

染症対策本部から「With 日に新型コロナウイルス感 しかし、令和四年九月八

> 用者さんの支援につながる 染症の情報のなかから、利 コロナに向けた政策の考え る、新型コロナウイルス感 重県のホームページにあ そして、厚生労働省や三 を見ながら、秋晴れのなか 赤く色づきはじめた紅葉を 嬉しそうな楽しそうな表情 がマスクを外し、お互いに ないので、久しぶりに全員 トル以上人との距離を確保 対策で着け続けていたマス できて、会話はほとんどし クですが、屋外で、二メー かけました。これまで予防 方面までウォーキングに出

方」が公表されました。

会では、コロナ禍になる前

画・音楽・調理の取り組み

うに、課題を明確にしてい して先生方に来て頂けるよ

日常生活を取り戻すために

ように感じます。

内容をしっかりと意識し 各部署の取り組みを、いく て、With コロナに向けた つか紹介していきたいと思

レクで県民の森や尾高観音 四年十一月十一日に Day ひのき作業所では、令和

ことができました。 バックに、気持ち良く歩く

とんどしませんが、人との ました。水分補給の時はお て、前を向いて黙って乗り かは、全員がマスクを着け 距離を確保できない車のな けれど屋内で、会話はほ

> 互いに距離を確保し合いな チーズ!」と大きな声を出 がら黙飲しました。「はい

真が撮れたことは良い思い が、マスクを外して記念写 地域活動・健康増進委員 体操・マッサージ・絵

討、実施することで、安心 を検討しながら、先生方が みごとに、必要な予防対策 施してきました。 アの先生方をお招きして実 を、外部講師やボランティ んだけでできることを検 不在でも、職員と利用者さ 今後はそれぞれの取り組

ロナ禍で実施できずにいま うメニユーがあります。コ 畑・運動の他に、外出とい したが、昨秋に菰野町のコ る最中です。 創作文化活動では、制作

> る有名な赤いクリスマスツ スモス畑や県民の森にあ 員全員が素敵な自然を満喫 久しぶりの外出に利用者職 リーを見に出掛けました

> > 通

所のデイレク

することができました。 (支援員 廣井 晶



こすことができました。

遠くではありません

える様に今年は皆でしめ縄作りをしました。材料は画

したが一人づつが飾れる様にと準備をしました。 作りました。人数分となるとなかなかの数にはなりま 彩りを添える為に色紙を貼り付けて飾ります。それ 利用者だけではうまく出来ない所は職員が手伝って

りと過ごした正月でし 思いますが、今年も健 寂しい思いで正月を迎 えられた方もいたとは 親御さんにとっては

いします。 今年もよろしくお願

はだかっています。 国の方針として、感染予防の上、

制限は緩和となりました。

しかしながら高齢者施設、障害者施設

れてきました。その都度、叡知を結集して乗り越 点から厳しい行動制限はやむを得ない状況です。 長い人類の歴史の中でパンデミックは繰り返さ においては、利用者の命を守るという観

送っていきたいものです。 (保護者 米村ユカリ

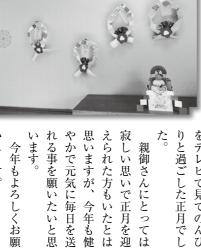
年末年始の風景

出来ない状況がありました。 感染症対策で今年の冬休みも家庭への帰省や面会が

用紙。丸めて輪っかにします 全員で過ごす年末年始なので少しでも雰囲気が味わ

味わえたのではないでしょうか… ぞれが思う様に貼り付けていきました。出来た物を壁 に飾るとそれらしくの出来栄えで少しでも正月気分を

年始は飾られたしめ縄を背景に正月ならではの駅伝 をテレビで見てのんび



(支援員 森嶋久美)

を行う、という今までにない設定でした。

てきてからいつもの学園の昼食をとり、午後は作業 と尾高観音に行きました。平日の午前中に外出、戻っ 利用者さん十二名と支援員四名で、近くの県民の森

十一月十一日金に、久しぶりに外出をしました。

空気や枯葉を踏む音、鳥の声や出くわしたおサルさ です。紅葉の季節とずれましたが、ちょっと冷たい レンジしよう!」と「観音様におまいりしよう!」 んなど、天気も良くて本当に気持ちのいい時間を過 した「お題」を作りました。「アスレチック遊具にチャ 心配もありましたが、楽しい外出となりました。 当日は二グループに分かれて、それぞれちょっと みんな戸惑わないかな?体力は大丈夫かな?など



ていることに改めて気 こんな時間を工夫して 張りたいと思います。そ がつきました。健康第 が、素敵な自然に囲まれ して元気が出るような、 作りたいなと思います。 一にまた毎日作業を頑 (支援員 赤塚雅子)

編集後記

ルス感染の波は私たちの前に大きく立ち 新しい年を迎えても、新型コロナウイ

のではなく、希望を持ち粘り強く日々の生活を は終息する日が来ることでしょう。悲嘆に暮れる えてきた事実があります。 今、私達が直面しているパンデミックもいつか